

2017年1月27日(金曜日)の**下野新聞**に

パン・アキモト米国進出について紹介されました!

2017年(平成29年) 1月27日(金曜日)

下野新聞

缶詰パンと秋元社長 那須塩原市東小屋



缶詰パン 米国進出

缶詰パン製造のパン・アキモト(那須塩原市東小屋、秋元義彦社長)は2月から、米サンフランシスコ市の提携製パン会社で缶詰パンの委託生産に乗り出す。同市の製パン会社13店舗や

那須塩原の パン・アキモト

インターネットで販売するほか、災害救援関係団体などへも販売する。

同社は缶詰パンを単発で輸出する程度で、海外で製造販売するのは初めて。米国では災害時の備蓄食料のほか、アウトドア

来月から現地委託生産 販売

用やファンシー商品として認知度を高める考えだ。

商品名は国内の「PANCA N(パンカン)」ではなく「エバーフレッシュブレッド」とし、オレンジ味(200g)を1個7〜8円で販売。月3千〜5千個の生産を目指す。

今後、販売した缶詰パンを賞味期限前に回収し、世界の被災地支援や飢餓救済に取り組みむビジネスモデル「救缶鳥プロジェクト」も広げる方針。

秋元社長は「米国はボランティア意識が高い。社会貢献できるビジネスに育て、顧客、マーケットが応援してくれるようなものになりたい」と話す。

(伊藤一之)